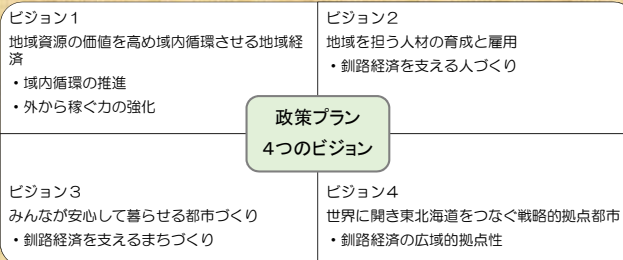


「域内循環」が築いた地域のつながり

1 都市経営戦略プラン ～政策プラン～

政策プラン

市民・企業・団体・行政の協働を基本に、地域が抱える課題と正面から向き合うとともに、釧路市の持つ特性を最大限に生かしながらプラス成長を目指すため、限られた資源を「選択と集中」によって重点的に投資していくための「重点分野」「施策展開の方向性」「独自政策の基本的な考え方」を明らかにするプラン。



2 域内循環

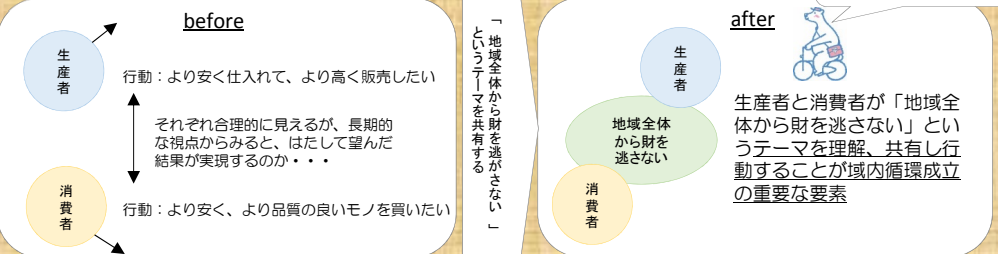
域内循環

市民や企業が必要なモノをなるべく域内（小さくは市内、大きくはひがし北海道）の地元企業から購入・調達を図ることで、地元企業の収益を支え、お金の循環を促し、地域全体の財の流出を防止し、地域経済の体力を蓄えていく取り組み。

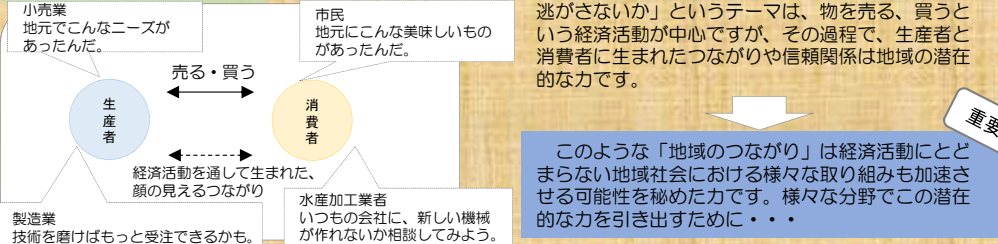
また、企業等による地元企業への発注は、お金の循環に加えて、ニーズのフィードバックなどによって受注する地元企業の技術を向上させ、地域の企業、技術、人材の連帯を通して、「外から稼ぐ力」の醸成につながります。



3 域内循環成立の要素



4 地域の潜在的な力

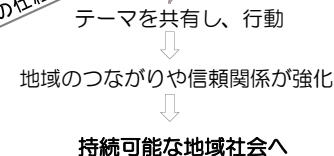


地域のつながりを生かす「域内連関」という考え方

5 域内連関に取り組む理由

地域の人口減少によりまちの活力が減退し、世帯構成や生活様式の変化により地域のつながりが希薄となっています。このような時代の変化に対応し、持続可能な地域とするために、限りの地域資源を活用し、最大限の効果を発揮する都市経営の視点が重要となっています。経済活動にとどまらず地域のつながりや信頼関係を一層強めることが重要です。

域内連関の仕組み

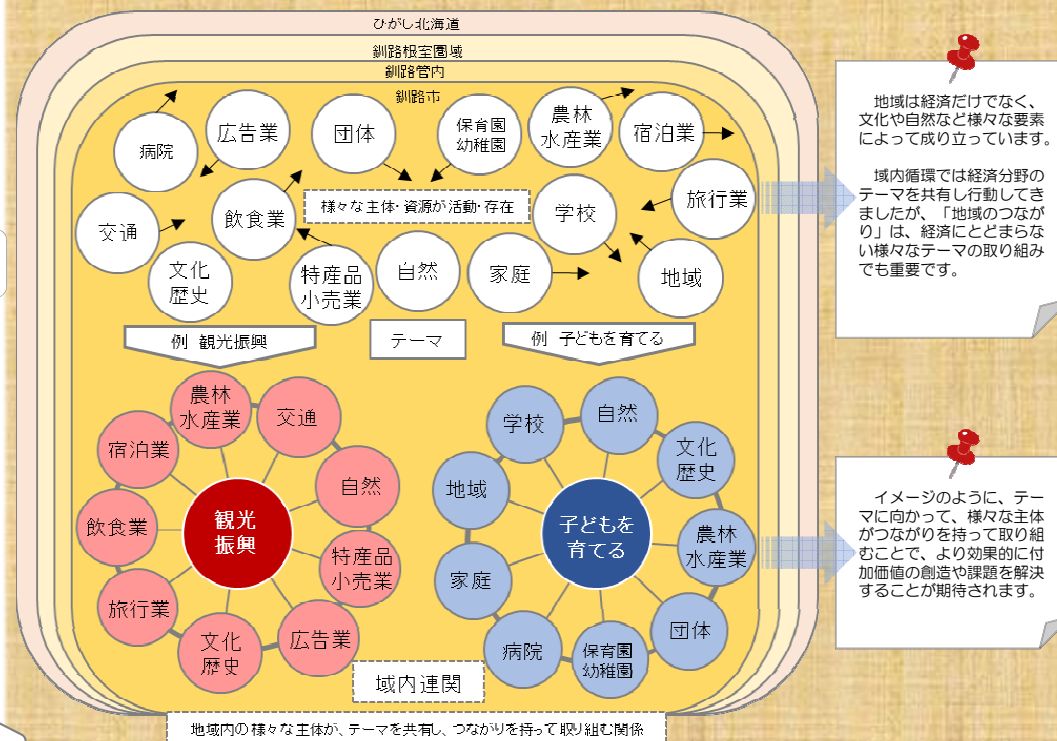


6 域内連関

いきないれんかん
「域内連関」とは、地域内の様々な主体がテーマを共有し、それぞれの強みや地域資源を生かしながら、付加価値の創造や地域課題の解決に向けて行動する考え方です。

域内連関に取り組むことで、地域のつながりや信頼関係は一層強まり、観光産業や地域のコミュニティ、防災、福祉など様々な分野に大きな力を発揮します。

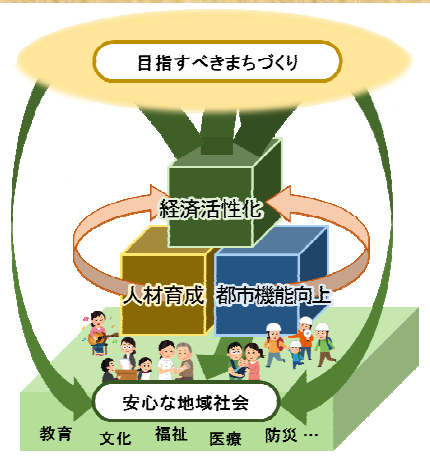
域内連関のイメージ



- ・ 釧路市が考える「域内」は、釧路市内を基本とし、広域的視点からはひがし北海道を想定しています。
- ・ 共有するテーマによって、連関する対象は様々な可能性があります。
- ・ 域内連関は、無理をして行うのではなく、それぞれができることを考えることが重要です。

重点戦略

本市では、まちづくり基本構想において「目指すべきまちづくり」を掲げるとともに、その実現に向け、市民が生まれ、育ち、生きがいを持って暮らすための基盤となる安心な地域社会の構築に取り組む。今後10年間に重点的に取り組むべき政策として、「まちの活力を高める経済活性化戦略」と「地域経済を担う人材育成戦略」「経済活動を支える都市機能向上戦略」の3つを「重点戦略」としています。



④域外のお客様に販売する

※ イメージ図内の業種や取り組みは一例であり、様々な可能性があることに留意が必要です。

まちの活力を高める経済活性化戦略	地域経済を担う人材育成戦略	経済活動を支える都市機能向上戦略
a 地域資源の魅力向上 b 域内循環の推進 c 交流人口の拡大 d 「売れるモノづくり」など、外から稼ぐ力の強化 e 生産性向上のための技術強化 f 地域資源を生かした企業誘致 g 域内の連関力強化	a 職業体験など郷土愛の醸成 b 就業機会の増加とキャリア教育 c 専門的人材の育成 d 就労支援とアクティブシニアの活躍 e 中間的就労支援と就労自立支援 f 石炭や水産など本市の強みを生かした人材の受入	a 生産基盤の整備 b 産業支援体制の強化 c 交通ネットワークの充実・活用 d 医療機能など定住自立圏機能の確保 e 広域観光圏の構築 f 外国人の受け入れ態勢の整備 g 駅周辺の都心部の賑わい創出

8 これまでの取り組み

